

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)総合棟	階数	地上6F
建設地	大阪府枚方市中宮大池1丁目1423-	構造	S造
用途地域	工業専用地域、	平均居住人員	700 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,600 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年8月 予定	評価の実施日	2017年6月20日
敷地面積	326,881 m ²	作成者	貝野 悠
建築面積	2,663 m ²	確認日	2017年6月29日
延床面積	11,352 m ²	確認者	内山 宗幸



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30% ☆☆☆☆ 60% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 100% ☆☆ 100%超: ☆

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

0 46 92 138 184 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
バルコニーやピロティなどを設け、建物内部だけではなく、敷地内で働く人々のコミュニケーションを誘発するワークスペースの実現		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・自然光が入り、明るく快適な執務空間を実現	・使用しやすいフレキシビリティの高い、多様な使い方が可能な執務空間を実現	・屋上緑化などを施し、敷地内で働く方々への憩いの場を形成。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・3~5階の中央部にハイサイドライトと開放的な階段を設けることにより、明るく、開放的な執務空間を実現	・建物内の方が健康を損なわず、快適に働ける素材選	・広大な敷地内の中央に位置し、周辺には良好な日照を維持すると共に夜間も過剰な照明等を行わず、閑静な環境を維持する。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0038

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)総合棟					
		建設地	大阪府枚方市中宮大池1丁目1423-2					
		用途/区分	事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+		
	CO2削減					3		
	省エネ対策					3		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							報告しない	
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.4	3	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価			建物全体	5.0	3	
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				4.8		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				2.7		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価				3.0		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価				3.4		
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない		報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				2.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								